

高山市議会市民意見交換会 第3回 高校生との意見交換会

平成30年2月11日

2月11日、市内の高等学校4校5グループの生徒の皆さんにご協力いただき、第3回高校生との意見交換会を開催しました。

意見交換会は3部構成で第1部では各高校からの意見発表（全体会）、第2部では各高校の生徒と議員とで発表された内容についての意見交換、第3部ではまとめを行いました。今回の意見交換を踏まえ、市の政策向上に向けて、高校生の視点

での活用と議会活動の活性化に取り組んで参ります。

去る2月15日発行の『高山市議会・ぎかいだより』増刊号でもこの様子を取り上げましたが、今回はさらに、その内容について詳しくお伝えします。

■飛驒高山高校 岡本キャンパス

テーマ

何が民主主義を機能させるのか？若者の政治への関心と課題

概要

市政への関心についてアンケート調査を実施。その結果を基に考察を加える。

発表内容

政治への関心を高める提案として、①市民意見を酌み取るためアンケート調査等を行うことを行い、少数意見への配慮を図る。②市民の絆・公共意識を深めるためには、おたがいさまの規範が大切であり、文化政策を重要

視することが住民の関わりを深めるキーワードになる。また、文化

・スポーツ分野の充実と存在は様々な話し合いでの空隙を埋め、つながり連携が高まる。また、現代はあまりに

市民生活・企業経営・公的役割（行政）が分

化・分業したことからそれぞれ思惑に隔たりが生じると考える。住民参加による公共機能の役割をもう一度省みてはと思う。



■飛驒高山高校 山田キャンパス

テーマ

全国和牛能力共進会に向けて

概要

平成29年9月7日、第11回全国和牛

能力共進会が宮城県で開催され、この大会に向けて、これまで取り組んできた内容について発表する。

発表内容

家畜審査・調教技術取得では先輩から後輩に綱打ち・引き運動・正姿勢の練習を繰り返しながら比較を重ね、審査技術の向上に励んだ。

交配計画と改良の上、自家保留による選抜により、育種と改良を重ね、肥育4頭中、A5等級1頭、A4等級3頭を整える。

目指す体系を知るため、子牛市場や農家視察を行い子牛の飼育ではワクチン接種、消毒の徹底、防寒対策など管理に取り組んだ。

育成牛の出品にあたり、朝夕30分調教、夏は水かけなどの体調管理、給餌の時間設定、牛床50センチベットの

設置を実施する。

大会当日のプレゼンでは改善点の発見、手入れ勉強を競うことでモチベーションをアップした。



■高山西高校

テーマ

飛驒の医療状況

概要

飛驒地区の少子高齢化問題は深刻であり、医療の役割は大きくなっている。高校生の視点から医療の現状を明らかにし提案する。

発表内容

現在、飛驒地区には出張診療所を含め22箇所へのき地診療所があり、地域医療を支えて

いる。へき地医療と地域中核病院での共通問題点として医師不足（量的不足と質的不足）

・設備不足が顕在化し、へき地医療においては医療従事者の不足もある。こうしたことから

も医師などの負担を減らすためには、地域住民自身が健康意識を高め、地域住民と医療の関わりにおける現状を知り、へき地と中核病院間のさらなる連携の維持が重要である。



■斐太高校

テーマ

高山の夜観光の活性化

（美夜斐・みやび）